**UNIT 1**

Summary （　　）に適切な語句を補い，各段落の要約を完成させなさい。

１ 導入（切手発明前）

郵便切手がまだなかった頃，①（　　　　　　）に手紙を送るのは困難だった。送り手と受け手がそれぞれ，自国内でかかる分の郵送料を払っていた。

↓切手の誕生

２ 展開１（切手の誕生）

英国人教師のローランド・ヒルは郵便切手を考案した。1840年にイギリスの郵政公社が，②（　　　　　　　　　　　　）と２ペンスブルーという最初の切手を作った。切手を買って手紙に貼り，その手紙を郵政公社が配達するという前払いで，受取人はお金を払う必要はなかった。

↓切手の普及

３ 展開２（切手の普及→国際郵便システムの確立）－１郵便切手はたちまち一般的になり，ほかの国もすぐに自国の切手を作り始めた。

↓UPUとは？

４ 展開２（切手の普及→国際郵便システムの確立）－２外国の切手が貼られた手紙を受け取りたがらない国もあるなど，③（　　　　　）郵便には問題があった。そこで，1人の④（　　　　　　　）人が万国郵便連合（UPU）を組織した。UPUの加盟国は，ほかの加盟国から届く前払いの手紙を受け取ることに⑤（　　　　　）した。現在，⑥（　　　　　　　）にオフィスがあるUPUには，ほぼすべての国が加盟しており，（　③　）郵便の問題を扱う。

↓現在の切手

５ 結び（切手の今）今日ではどの国でも，美しい切手が売られている。切手収集を⑦（　　　　　）とする人も多く，彼らは（　②　）や2ペンスブルーのことも知っている。

【解答】

①ほかの国〔外国〕　　②ペニーブラック　　③国際　　④ドイツ　　⑤同意

⑥スイス　　⑦趣味